

三増区新宿町内会 夏祭りを訪問

平成28年7月17日(日)

各地で賑やかに夏祭りが行われるなか、三増区（加藤一男区長）の祭礼で、県立愛川高校（大沢利郎校長）の生徒達が、御神輿を地域との連携の一環として「三増区新宿（みませくしんしゅく）町内会」で担ぐと聞き、取材してきました。

参加したのは、サッカー部の1・2年生15名と女子マネージャー1名。愛川高校で御神輿を待つ間にねじり鉢巻きを締め、地区役員が担ぎ方を説明。到着した御神輿に生徒達が加わり、「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声とともに出発しました。沿道からの声援を浴びながら、学校から新宿公民館まで元気よく練り歩きました。



新宿公民館に到着



町内会役員・高校生・先生みんなで記念撮影

当日は曇り空でしたが、むし暑い一日で一緒に歩くだけでも汗が噴き出しました。公民館に到着した高校生は汗びしょりでしたが、やり遂げたという満足そうな表情でした。沼田和行町内会長からのねぎらいの言葉に、高校生の代表が「今回参加できてよかったです。来年も来ますのでよろしくお願いします。」とあいさつし来年の再会を約束しました。

「新宿町内会」は、三増区内にある8つの町内会の1つです。昨年、今年と愛川町の一斉清掃「あいかわごみゼロ・クリーンキャンペーン」に地区内にある愛川高校の生徒が参加した縁で、御神輿と一緒に担ごうということになったそうです。

愛川高校は、「三増の獅子舞」「和太鼓」「海底（おぞこ）和紙」といった地域文化の伝承に力を入れているとともに、地域との交流にも意欲的に取り組んでいるそうです。

町内会からは「今回のような地元の高校との交流で、地域の活性化につなげたい。高校生が神輿を担ぐために、学校側と町内会・祭典委員会（望月正文祭典委員長）で入念な打合せを持ち、安全を確保して進めてきた。来年の役員にも引き継いで、今後も続けていきたい。」とのお話をうかがいました。